

鶴間地域住民の安全を守れ！

浅見美子(公明党)

○ 横浜市瀬谷区に建設中の大型マンションの入居に伴う、鶴間周辺狭い道路及び住民の安全対策への市の取り組みを問う。

市長 具体的な指導権は市にないが、横浜市側と十分調整をし、状況を聞くよう担当の方には指示をしています。

○ 高齢者の方々の安全な暮らしたため、緊急通報システムの対象者、利用者の拡大を求める。

高山助役 現段階で、利用者だとか待機者、申請があつて条件があつていれば、問題なく措置をしていると考えていますので、現在、待機者も

住基ネットに係る自治体責任は

佐々木智子(日本共産党)

○ 住基基本台帳ネットワークシステム稼働に当たり、市民の個人情報保護するため、自治体としてどんな措置を講じた上で実施したのか。

市長 町田市においては、既に個人情報保護条例があるわけですからそれらを厳重に実施することとあわせて、これからも万般遺漏のないよう、さらに検討を加えるということと慎重な運用を図っていきたく考えています。

○ 個人情報漏れに対するセキュリティは、本当に万全なのか、市の見解を問う。

市民部長 町田市の内部コンピュータ、情報関係のシ

ボランティア都市宣言を求める

川畑一隆(公明党)

○ 協働・連携の社会構築に向けて、市民のより一層の参画を市はどのように取り組むのか。福祉・教育・環境等へのボランティアの情報提供、地域通貨導入及びボランティア都市宣言を求める。

市長 市行政の各分野でボランティアの育成あるいは協力をお願いする柔軟な対応が必要だと思つています。町田市は四つの宣言都市になつていまして、ご提言としていただいで、また考えていきたい。

○ 都市型農業推進特区の事業構想及びその実現へ向け、受け皿作りを地権者の方を含めてどう取り組むのか。

介護保険の改善をもとめて

佐藤洋子(日本共産党)

○ 二〇〇三年の見直しに当たり、今でも高い保険料を値上げすることは高齢者の生活を脅かす。値上げすべきではない。

市長 新しい保険料の算定は、とても値上げしないで済むという状況ではないわけ

○ 都の「福祉改革推進プラン」が実行されることにより、障がい者施設、法人立保育園などに対する影響を考えた町田市は都に中止を求めるべきと考えるかどうか。

市長 最近、この問題につ

寺田市長に断固たる決断を望む

斉藤 稔(まちなだ新世紀)

○ 町田市の将来を決める重要施策の実施に当たり、市民からの総論は賛成だが、自分の所には嫌だという意見に担当職員は振り回されている。市長は自分の信念に基づき、断固たる決断を。

市長 重要施策になればなるほど、うかつに物がいえない状況があるわけで逡巡することもあります。間違っている場合は指摘されても仕方がないが、広い気持ちでおつきあいをいただくことをお願いして、私の答えとします。

○ 都市基盤整備公団は小野路西部、小山田の区画整理事業を中止したが、小野路の

NPO連絡会を介護者も休養を

石井恵子(社民ネット)

○ NPO連絡協議会を設置する企画はあるか。

市長 町田市では、既に二回NPOの連絡協議会というのでしようか、講師も呼んだりして行っているところで、これから努力したい。

○ 障がい者「緊急一時保護」で、介護者の休養を理由に利用した方は何人いるか。

健康福祉部長 二〇〇一年度で、入院一九六、通院四九八、出産四五、冠婚葬祭二七三、レスパイト一、一九〇です。

産業経済ビジョンの策定を

高嶋 均(日本共産党)

○ 地元業者の仕事確保を進めるために、産業経済ビジョンの策定をすべきと思うがその考えは。

市長 産業振興プランをつくることで六項目挙げたわけ

○ 空き店舗の対応策は。

市長 中心市街地は相当部分市が確保して、いろいろな方策をとっているわけですが、そこを利用して事業展開をしようとする方々への支援措置は、これからの課題として検討したいと思つています。

学童保育の整備と充実を求めて

細野龍子(日本共産党)

○ サイクリング道路へのトイレ整備を早急に進めるべきだが、どうか。

市長 高齢者がますますふえてくる状況ですので、これからも努力したいと考えています。

○ 南地域への学童保育を早急に整備すべきだが、どうか。

市長 近隣の方々の理解を得ることが必要ですが、比較的大きな土地があれば理想で、都市化している状況では厳しい環境にありますけれども、これからの考えなければいけない問題だと思つています。

○ 支援費制度を導入するに当たり、障がい者サービスの水準と質を守るべきだが、どうか。

高山助役 大幅に変わった制度で行うわけですから、いろいろ矛盾も出てくると思つています。一つ一つ点検しながら制度を順調に軌道に乗せるように努めていきたい。